



目には青葉山ほととぎす初鯉 漸く心地よい時節となりました・・・健康第一です!!! 青葉を渡る風にたなびく鯉のぼりの如く 外に出て大空の下で 身体を存分に動かしましょう!!!

報告事項

1. 明老連 演芸会：3月5日(日) 於 明峰公民館 → 久々に賑やかで楽しい集いでした!!!
2. 鶯友会 3月度例会：3月11日(土) ネットのトラブルについて → 勉強になりました・・・
3. 鶯友会 花見ハイキング：3月30日(木) 自治会館発 → 北ひばりが丘公園、16名参加
4. 市老連 健康ハイキング：3月31日(金) 絹延橋駅集合 → 五月山・池田城へ、参加54名
5. 鶯友会 定期総会・花見会(会館内)：4月8日(土) 於 自治会館
総会出席41+委任状16：有効57票 → 賛成57票、花見会は39名参加、盛会!!!
6. 明老連 定期総会：4月10日(月) 於 明峰公民館 鶯友会よりは 越智会長他計4名出席
7. 明峰小地区福祉委員会 青空ふれあい広場：4月16日(日) 於 鶯が丘第一公園
多種多様の催しもの & フリーマーケット、盛会でした!!! されど主催側者は大変・・・
8. 会員動静：訃報 横谷弘務さま(ご逝去3月3日)・・・ご冥福をお祈りします 合掌
退会 青木清十郎さん、多田富弥さん、河野和子さん、植松敏男さん
中井敬子さん・・・計5名
会員数：64名(男性32+女性32)へ

喫緊の行事予定他

1. 鶯友会 G. ゴルフ大会 5月11日(木) 13:00~ 於 湯山台グラウンド
2. 鶯友会 5月度例会：5月13日(土) 13:00~ ビデオ放映(予定)
3. 明老連 歩こう会：5月17日(水) 川西能勢口西口 10:00 集合 → 阪大学術博物館他へ
4. 鶯友会 玉葱収穫会：5月20日(土) 10:00~ 自治会館裏庭
5. 市老連 定期総会：5月24日(水) 13:00~ 於 アステ6F 大ホール
6. 市老連 G. ゴルフ大会 6月1日(木) 於 東久代運動公園
7. 明老連 日帰りバス旅行：6月6日(火) 自治会館 8:30 発 → 鳴門のグルメ昼食他
8. 鶯友会 6月度例会：6月10日(土) 13:00~

以上

3 月 度 例 会



消費者トラブルで お困りのときはご相談ください 保存版

川西市消費生活センター (市役所内)

☎ 072(740)1167

相談受付 / 月曜日~金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00~12:00 12:45~16:00

〒666-8501 川西市中央町12番1号

振り込み詐欺のご相談は 川西警察署 ☎ 072(755)0110 へ

明老連 演芸会 R5.3.5



カラオケ 夫婦春秋



民舞 人生これから



カラオケ 河内の次郎長



ハーモニカ演奏
月の砂漠



カラオケ 風の盆恋歌



22 新舞踊 波



マンドリン演奏 ひまわり



新舞踊 左渡の夕笛



民舞 下町の太陽

鶯友会 花見ハイキング
R5.3.30



北ひばりが丘公園



きずきの森公園

市老連 健康ハイキング
R5.3.31



満開の桜をバックに集合写真、ハイチーズ



池田城をバックに集合写真・・・1+1は??

明老連 定期総会
R5.4.10



明老連 定期総会



鶯友会 花見会 R5.4.10



明峰小地区福祉委員会 ”青空ふれあい広場“ R5.4.16



フィリピンイチョイシイ水だよ！！いやセカイイチか～もね！！

高校生時代からの友人に IW 君がいます。彼は大手商社のアメリカ駐在を5年経験し、60歳の定年を待たず直前に退社して、アジア協会アジア友の会（JAFS）に”生命の水”を贈る国際協力NGOに在籍しフィリピンのプロジェクトに参加しました。そのとき私にもボランティアでの参加打診がありましたが仕事で都合がつかず、プロジェクト終了から3年後の2002年に高校同期の仲間5人とIW君の案内で現地を訪れました。目的は工事の完成した水源地とパイプラインの維持管理状況の視察でした。

着いた日の夜は町長初め教育長や要職者から歓迎の夕食会に招かれたのですが、その盛大さに驚かされました。人口2万人弱の町なのに30人ほどの小学生が舞台上で来島歓迎の歌を披露してくれました。

翌日は植樹のために水源地の丘を訪れ地元の若者達と汗を流しました。その時の貯水槽の水が美味しかったことを今でも思い出します。水がいかに貴重なのかを思い知らされたのは、水洗トイレが完備されている宿舎でも水道水でなく備え付けられたバケツに入った海水を使うのです。



JAFSがこのプロジェクトを町に提案した時は、第2次世界大戦当時ひどい目にあわされた日本人に対する警戒と憎悪の念を持つ人もこの島にはまだ多く、誰も工事に協力しないばかりか、反対する人が現れる始末、IW君達は町の有力者の説得に奔走、ジャップと怒鳴られたことも何度かあったようですが、現地人との交流を通し2年近い年月をかけて地域住民や地権者の理解と協力を取り付け、着実にこぎつけたとのこと。あの熱烈な歓迎ぶりや現地の人々の温かいもてなしがそれを物語っているようでした。

フィリピン国パナイ島アンティーケ州パندان町では、海水混じりで不衛生な水が原因の病気で、子どもをはじめ多くの村人が命を落としていました。この窮状を伝えるフィリピン人留学生の声にアジア協会が立ち上がり、1994年、湧水を水源とし10kmに及ぶパイプライン建設に着手しました。1999年の完成までに1億円の寄付と、通算18回のワークキャンプで延べ260人以上の日本人ボランティア参加を得て、フィリピン住民も協力し、多くの困難を乗り越えたJAFS最大のプロジェクトとなり両国の友情も育みました。現在、経営・維持管理は「パندان水道公社」にしっかりと引き継がれ、約2,700世帯(約14,000人)に給水されています。水道を機に水源を守る環境保全だけでなく、青少年育成・教育支援・障害者支援などの活動にまで発展しています。

このプロジェクトは2019年に映画「セカイイチオイシイ水～マロンパーティの涙」のモデルになりました。日本フィリピン両国のボランティア達の涙ぐましい献身により、戦争の傷を乗り越え9年もの歳月を費やし完成した水道建設工事にまつわる感動の実話として、赤井英和がIW君の役となって映画化されました。アマゾンプライムビデオでも配信されていますので、機会あれば是非ご覧ください。

